

# 第 179 回 中華人民共和国と朝鮮戦争

## 1 国共内戦

- ・第二次世界大戦末期から、中国では毛沢東率いる（ ）と、蔣介石率いる（ ）との対立が激化していた。  
→日本降伏後の 1945 年 11 月、（ ）が始まった。

- ・両軍は、アメリカの仲介で双十協定を結び政治協商会議を開いたが、すぐに内戦が再開されてしまった。
- ・中国共産党は、中国土地法大綱で地主の土地所有を禁じ、農民の支持を得た。  
→徐々に解放区と呼ばれる支配地区を拡大させていった。  
→1949 年、勝利目前の中国共産党は、北京で人民政治協商会議を開いた。
- ・敗れた蔣介石の中華民国政府は（国民政府）は、（ ）で存続した。  
→蔣介石の厳しい統治に対し抗議が起こったが、（ ）で弾圧した。



毛沢東

毛沢東の中国共産党は、農民の圧倒的な支持を受けていた。中華人民共和国の建国者にして、現代中国史における最も重要な人物である。



蔣介石

蔣介石の中国国民党は、アメリカの支援を受けて共産党に攻勢をかけたが、政治の腐敗がひどく支持を失っていった。内戦のさなかに中華民国憲法を施行し、現在も台湾の憲法となっている。



二・二八事件の記念碑

中国から逃れてきた外省人と、台湾の本省人(内省人)の激しい対立は、民衆の抗議とデモに発展した。1947 年の二・二八事件以降、約3万人が犠牲になったと言われる。



毛沢東

1949 年 10 月 1 日、北京の天安門で、中華人民共和国の建国を宣言した。

☆（ ）（1949～2023 年現在）

都…（ ）

◆（ ）（国家主席在任 1949～1959 年）

- ・勝利した中国共産党は、1949 年、中華人民共和国の建国を宣言した。  
→ソ連、東欧諸国、インド、イギリスなどが中華人民共和国を承認した。
- ・（ ）が初代首相として毛沢東を補佐した。
- ・1950 年、ソ連との間に、（ ）を締結した。

- ・1950 年、（ ）が勃発すると、中国は北朝鮮を支援するため、アメリカを中心とする国連軍に対抗して、「義勇軍」を派遣した。
- ・1950 年、（ ）を行い、大地主から土地を没収した。
- ・1953 年からは、ソ連の援助を受けて（ ）を開始した。  
→重工業を重視するとともに農業の集団化を進めた。
- ・1954 年、新民主主義に基づく中華人民共和国憲法を制定した。



周恩来

共産党のナンバー2で、毛沢東に忠実でありながらも、より現実的な政治を行って高い評価を得た。中国史上屈指の政治家である。



当時のポスター

握手するスターリン(左)と毛沢東(右)を描いたポスター。当初ソ連と中国は、友好的な関係を維持していた。



朝鮮戦争のポスター

アメリカと対立する中国は、北朝鮮へ義勇軍を送った。だが義勇軍の実態は、正規の軍隊である人民解放軍であった。

## 2 朝鮮半島と朝鮮戦争

- ・第二次世界大戦中、1943年の（ ）とカイロ宣言で、戦後の朝鮮の独立が承認されていた。
- 戦後（ ）を境に、北はソ連、南はアメリカが占領した。



金日成(キム=イルソン)  
36歳の若さで北朝鮮の首相となった。金正恩の祖父にあたる。実は偽物という説も。

☆（ ）（北朝鮮）（1948～2023年現在）

都…平壤（ピョンヤン）

◆（ ）（首相 1948～1972年、国家主席 1972～1994年）

- ・1948年、朝鮮労働党の金日成が、ソ連の援助で朝鮮半島北部に建国した。
- ※主体思想などをと立て、次第に独裁体制となっていた。

☆（ ）（1948～2023年現在）

都…（ ）

◆（ ）（在任 1948～1960年）

- ・1948年、朝鮮半島南部に大韓民国が建国され、李承晩が大統領となった。



李承晩(イ=スンマン)  
戦後、建国準備委員会を組織するなど、独立運動を進めていた。独裁には批判も多い。竹島を不法占拠したのも彼である。

- ・1950年、北朝鮮は、朝鮮半島の軍事的統一を目指して突如南部に侵攻を開始し、（ ）を起こした。

→朝鮮半島の共産化を嫌うアメリカは、ソ連が欠席していた安全保障理事会で北朝鮮の侵略を非難し、「 」の派遣を決議させた。

→アメリカ中心の「国連軍」は仁川に上陸し、北朝鮮軍を押し返した。

→これに対し（ ）して北朝鮮を支援した。

- ・1953年、（ ）で朝鮮休戦協定が結ばれた。



李承晩とマッカーサー

朝鮮戦争で「国連軍」を指揮したのは、GHQのマッカーサー元帥。しかし核兵器の大量使用を主張したため、トルーマンに解任された。



朝鮮戦争のアメリカ兵

「国連軍」としても、約90%はアメリカ軍であった。仁川上陸作戦はマッカーサーいわく「成功率 0.02%」であったが、これにより戦局は一変した。



板門店の会議場

机の上のマイクのコードが、北緯 38 度線である。現在は観光もできるが「死んでも自己責任である」という署名が必要らしい。

## 4 朝鮮戦争

### A 交戦経過

